

恋文 シリーズ *Koibumi Series*

いろんな方々の心に寄り添える、
そんな舞台になるよう頑張りたいですね。

Cover Artist Interview

田中要次

Yohji TANAKA

俳優

田中要次 <俳優>



大切な誰かに宛てた恋文を、俳優の朗読とピアノの生演奏で贈るアーラ・オリジナル企画。今年は、瀬戸山美咲さんが構成・演出を担当し、田中要次さんと高橋由美子さんが、心を込めて手紙の言葉を届けます。

もう舞台には上がりません！と言いつつも、もしも（笑）。

ハードボイルドなイメージの田中さんから、思わぬ弱気な発言が（笑）。大丈夫です！今回の構成・演出を手掛ける瀬戸山美咲さんが、「ぜひ田中要次さんにお願したい」と強くリクエストされたそうですよ。

田中さんご自身が恋文を書いたり、受け取ったり…といった思い出を教えてくださいませんか？

やっぱり十代、二十代の時の思い出はありますよ。自分の書いた文字が気に入らなくて、何回も書き直したり（笑）。僕はそれこそ便箋、封筒の選択も悩みました。たぶん、そういう《飾り》に頼らないと相手の心に伝わらないんじゃないか、という怖さがあったんじゃないかな。中身をどう書くかが一番大事なのに（笑）。どんなことを書いたか、もう思い出せないけれど、こっぴどい内容だったんじゃないですかね。あと、思い過ぎた手紙もありました。可愛いなと思っていた子が手紙をくれて、「私、田中さんの事、好きです」って書いてあったから、やったく！って舞い上がって、友達にも自慢して。でも彼女の態度がどうもヘンなんです。おかしいなと思って手紙をよく見てみたら、「田中さんの事」じゃなくて、「田中さんの声」だったんです。それで恥をかいたことがありました（笑）。

まず思ったのは、え、僕に朗読させるのか！と（笑）。以前、『木曾のストラディヴァリウス』と呼ばれる木曾で作ったヴァイオリンの演奏をバックに、僕が島崎藤村の『夜明け前』の冒頭を朗読する企画があったんです。もう、初っ端で噛みましたが（笑）。それで演奏し直しになったという怖い思い出が…。そんな経歴の僕にどうして!? それも一つの手紙だけじゃない、いろんな方の手紙を…。噛みっぱなしになったらどうしようかと、ドキドキしています。うまくやれたら自信につながると思いますけど、ボロボロだったら、

本当ですか!? それは、瀬戸山さんに《見えない恋文》をいただいたと思っていいのでしょうか…。思い過ぎじゃないといいな（笑）。参考に過去の『シリーズ恋文』の台本を読ませていただいたんですが、手紙の一つ一つが、書かれた時代も違えば書いた方の年齢もバラバラで、ある意味、一人で何役もやらなきゃいけないということですよ。朗読とはいえハードルが高い。一番びっくりしたのは、僕の知らない日本語がこんなにあるんだ…。戦時中に書かれた手紙などを読んでも、そんなふうに感じました。戦争に行く前に書いたとすると、きつとお若い方だと思っ

《声》でも十分に脈ありだったのでは!? 意外に…と言ったら失礼ですが（笑）。繊細で微笑ましいお話を知って、田中さんのまた違った一面を見せていただけたよ

アーラ・イルミネーション

ala illumination

2021.12.4 sat ~ 2022.1.30 sun

12月 17:30 ~ 22:20 1月 18:00 ~ 22:20 ※休館日（火曜、12/28 ~ 1/4）を除く

冬の恒例イベント「アーラ・イルミネーション」今年も行います！
今年のテーマは『未来（あす）へ羽ばたく』
家族と恋人と友達と、お誘い合わせて遊びにいらしてください。





はい、遅くはこの世界に入ったから、蜷川さんなんて絶対に縁がないと思っていたのに、蜷川組と呼ばれて。きつと最初に俺に灰皿が飛んでくるだろうなと思っていましたよ（笑）。でもその時、僕に自信を授けてくださっ

過去には蜷川幸雄さんの演出舞台『十
二人の怒れる男』2009年上演も経
験されていますね。

うに感じました。朗読劇への期待が高ま
ります。
いや、僕は本当に、俳優という仕事を選
じたのは間違っていたんじゃないか、何でい
つも緊張と戦ってはいなくちゃいけないん
だろうと思ってるんですよ。とくに演劇の緊
張感は、自分自身と役柄とのあいだに距離が
あって、その人格と一つになれていないから
緊張するのもかもしれないな…なんて考え
てしまっ。自分に納得出来なかつたり、迷っ
たり、いまだに『舞台を楽しむ』という域に
行けないままです。いつか、「毎日ステー
ジに立つのが楽しい」と言えたらいいなと
思っているんですけどね。

たのは蜷川さんでした。「君は芝居がすぐ
柔らかくて、いいねえ」って言っていた。い
て、蜷川さんの舞台は熱い芝居をしなきゃい
けない、みたいな勝手なイメージを持ってい
たけれど、蜷川さんが求めていたものは違っ
たことと救われましたね。僕は僕のままで良
かったんだ、と。

素敵なお話をありがとうございます。表
現に対して誠実に葛藤している田中さん
が、恋文に込められたさまざまな人の思
いをどう表わすのか、ますます楽しみに
なってきました。

僕自身も楽しくやれたらいいなと思っ
ています。とにかく高橋由美子さんに迷惑を
かけないように、頑張らなきゃいけません
よね。お客様には、「誰かに宛てた恋心を、役者の声で
聴くのもなかなかいいものですよ」とお伝え
しておきます（笑）。これから誰かに思いを伝
えようとしている人、昔のことを思い出して
いる人…、そうしたいいろんな方々の心に寄
添える舞台になるよう頑張りたいと思いま
す。

取材／上野紀子 撮影／三友鉄也 協力／フリーペーパーMEG

田中 要次



高橋 由美子



シリーズ恋文 vol.11

構成・演出：瀬戸山美咲 音楽：黒木由香

日時 1/15(土) 14:00 1/16(日) 14:00

心に響く「恋文」を俳優による朗読とピアノの生演奏で紡ぐ、アーラ・オリジナル
のリーディング公演。シリーズ第11弾も豪華俳優陣でお届けします。

会場 小劇場

料金 全席指定 4,000円 18才以下 2,000円

発売中



新しい年、アーラをウィーンの空気にみたくして

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 ニューイヤー・コンサート2022

日時 1/10(月・祝) 14:00 ※開場13:15

アールではおなじみとなった、ニューイヤー・コンサート。
2人の歌手とバレエ・ダンサーと共に新年にふさわしい優雅な音楽をお届けします。



プログラム | J.シュトラウスⅡ / オペレッタ「こもり」序曲
ワルツ「美しく青きドナウ」、春の声」
レハール / 「金と銀」
ブラームス / ハンガリー舞曲 第5番 ほか

会場 主劇場

料金 全席指定 8,000円 18才以下 4,000円

発売中



指揮
アレクサンダー・ジョエル



ソプラノ
ベアーテ・リッター



テノール
メルツァード・モンタゼーリ

名作歌舞伎を台詞で味わう

歌舞伎とおしゃべりの会

中村橋吾のひとり歌舞伎 ④ 「修禅寺物語」を楽しむ

日時 12/25(土) 13:30

岡本綺堂作「修禅寺物語」を中村橋吾さんの
朗読と解説でお楽しみください。



会場 演劇ロフト

料金 整理番号順指定席 1,000円

発売中

笑う門には福来たる！

かに寄席 初席

日時 1/23(日) 14:00 ※開場13:15

アールの風物詩「かに寄席 初席」。
新春を彩るいぶし銀の絶品落語をたっぷりとお楽しみください。

会場 主劇場 料金 全席指定 4,000円 18才以下 2,000円

発売中



三遊亭小遊三



春風亭一朝



桂 文治



旭堂南湖(講談)

アール・キネマ倶楽部 1月
『ジュディ 虹の彼方に』 上映時間118分 字幕
2019年 イギリス

『オズの魔法使』で始まった波乱の人生 感動と慟哭の実話

日時 1/30(日)・1/31(月) 各日10:00 / 13:30

「オズの魔法使」で知られるハリウッド黄金期のミュージカル女優ジュディ・
ガーランドが、47歳の若さで急逝する半年前の1968年冬に行ったロンドン
公演の日々を鮮烈に描いた伝記ドラマ。

主演のレナー・ゼルウィ
ガーがアカデミー賞など
数多くの映画賞で主演
女優賞を受賞。

会場 映像シアター

料金 全席指定 900円
18才以下 450円

発売中



© Pathé Productions Limited and British Broadcasting Corporation 2019

2022年2月に振替公演が開催決定！

森山威男ジャズナイト2021

日時 2/5(土) 18:30 ※開場17:45

トッププレイヤーが放つ濃密な熱気とところに沁みるメロディー。
開館以来、年齢を問わず観客をシビれさせてきた迫力の森山サウンド！

出演：森山威男(ds)、類家心平(tp)
渡辺ファイアー(as)、川嶋哲郎(ts)
田中邦和(bs)、佐藤芳明(acc)
中路英明(tb)、田中信正(pf)
水谷浩章(b)、相川瞳(per)

会場 主劇場

料金 全席指定 5,000円
18才以下 2,500円

発売日 12/4(土)



学ぶ楽しさ無限大！

歌舞伎とおしゃべりの会

木ノ下先生とディープに学ぶ歌舞伎
冬期講習

日時 2/12(土) および 2/13(日) 13:30

木ノ下歌舞伎主宰として演劇界で熱い注目を集め、深い古典知識でも知られる木ノ下裕一氏を講師に迎えて、とことん歌舞伎を学ぶ2日間。

会場 映像シアター

料金 2日間セット券 全席指定 2,500円
※ 冬の宿題スケッチブック付き

発売日 12/11(土) 

玄人も裸足で逃げ出す絶品話芸

風間杜夫落語独演会

日時 2/18(金) 18:00

俳優として落語家を演じたことから話芸を磨き、いまや自身の落語会を定期的に開催するまでの腕前に。アールでも毎年恒例となった独演会。高座に上がる際にかかる音楽「出囃子」は、もちろん主演映画の『蒲田行進曲』！豊富な経験が生きた得意の古典落語レパートリーの中から二席を披露します。後半のトークショーは、生身の風間杜夫さんを知ることができるチャンス！

会場 小劇場

料金 全席指定 3,000円
18才以下 1,500円

発売日 12/11(土)



日本を代表するフォークシンガーがalaに登場！

南こうせつ コンサートツアー2022
～ いつも歌があった～

日時 2/20(日) 17:00 ※開場16:15

「神田川」「赤ちょうちん」「妹」といった名曲を送り出してきた 南こうせつがユーモアたっぷりなトークとともに贈るコンサート。

会場 主劇場

料金 全席指定 6,000円
18才以下 3,000円

発売日 12/18(土) 

* 本公演は、ビッグコミュニケーションチケット対象外です。

アール・キネマ倶楽部 2月
『顔たち、ところどころ』上映時間89分 字幕
2017年 フランス

友情に年齢は関係ない！年の差54歳の2人がフランスを旅する、各国の映画祭で絶賛されたロードムービー

日時 2/20(日)・2/21(月) 各日10:00 / 13:30

女性監督の先駆者として、アカデミー賞の名誉賞も受賞している88歳のアニエス・ヴァルダと、様々な場所で住人たちの大きなポートレートを貼り出す参加型アートプロジェクトで知られる34歳のアーティスト、JR。フランスの田舎街をトラックで巡りながら、作品をともに作り、残していく様子を記録したドキュメンタリー。カンヌ国際映画祭 最優秀ドキュメンタリー賞、他多数受賞作品。

会場 映像シアター

料金 全席指定 900円
18才以下 450円

発売中 

© Agnès Varda - JR - Ciné-Tamaris - Social Animals 2016.

チケット取扱／可見市文化創造センター・インフォメーション

ネットで
予約する<https://www.kpac.or.jp>24時間いつでも予約可能！ネットでのカード決済も可能。
お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアール窓口で！電話で
予約する

TEL.0574・60・3050

お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアール窓口で！

9:00～19:00

(火曜休館／祝日の場合は開館 翌平日休み)

窓口で
購入する

窓口でご利用可能なカード



- 発売日は窓口・ネットにて販売。電話予約は翌日からとなります。
- 表記のない公演の開場は開演30分前です。
- 振込による代金支払い・チケットの配送サービス(有料)もごさいます。
- 表記のない公演の未就学児の入場はご遠慮ください。託児サービスは中止しております。
- 18才以下のチケット料金は各種割引サービスの対象外です。
- 公演当日の混雑緩和のため、チケットの事前引き取りにご協力ください。また、当日は余裕を持ってご来場をお願いします。

簡単・便利自宅で
チケット予約

インターネット予約

みんなで観ると
最大30%割引！

ビッグコミュニケーションチケット

【ビッグコミュニケーションチケット】

- 4人～5人で10%割引
- 6人～7人で20%割引
- 8人以上は30%割引
- ※ 同一日時の公演を同時購入する場合のみ。

残席がダン！ダン！
安くなる！

DAN-DANチケット

【DAN-DAN チケット】

- 残席がある場合に限り公演日《1週間前から20%割引》《当日は半額》になります。
- ※ インターネットは0時から。
- ※ 窓口・電話は9時から。

公演をセットにして20%割引
一般発売よりも早く良い席を！

パッケージチケット

アールの
感染症対策

十分な換気

機械換気設備により、常時十分な換気が行われています。

客席への抗ウイルス加工

劇場の客席には、抗菌・抗ウイルスコーティング加工を施しています。

体調不良なら当日でも

アール主催公演は、チケット購入金額の100%をアールクーポンとしてお戻しします。

日	曜	開演 予定	終演 予定	催事名	入場	問合せ
---	---	----------	----------	-----	----	-----

主劇場(宇宙のホール)

9	日	①11:00 ②14:30	①12:00 ②15:30	令和4年 可児市成人式	関係者	市人づくり課 0574-62-1111 内線2115
10	月・祝	14:00	16:00	ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 ニューイヤー・コンサート 2022	詳細は P4	可児市文化創造センター 0574-60-3311
19	水	9:45	12:45	第40回 健友会演芸大会	関係者	可児市健友連合会 0574-62-1111 内線3238
23	日	14:00	16:00	かに寄席 初席	詳細は P4	可児市文化創造センター 0574-60-3311
29 30	土 日	10:00 10:00	18:00 18:00	第54回 岐阜県アンサンブルコンテスト	関係者	岐阜県吹奏楽連盟 090-2613-6731

小劇場(虹のホール)

10	月・祝	18:00	19:30	一般社団法人可児青年会議所 2022年度 新年式典	関係者	一般社団法人 可児青年会議所 (松岡) 0574-62-9010
15 16	土 日	14:00 14:00	15:30 15:30	シリーズ恋文 vol.11	詳細は P3	可児市文化創造センター 0574-60-3311
22	土	14:00	15:50	日本のうたを歌う会 20回記念 初春こんさあと	全席自由 2000円	貞平純子 0574-64-2063
23	日	11:30	16:00	若い芽のピアノコンサート part17	無料	藤田晶子 090-9931-4667
29	土	13:30	15:30	可児市伝統文化子供日本舞踊教室 子供日本舞踊発表会	無料	加藤雪子 0574-63-7801

ギャラリー

12~19	水~水	9:00	22:00	みんなでつくるデザインマスク展 produced by ROCK FILL JAM 最終日 16:00 まで	無料	可児市文化創造センター 0574-60-3311
21~23	金~日	9:00	17:00	第18回 芳墨書道会展	無料	渡辺白鳳 0574-62-4350
26~31	水~月	9:00	22:00	みんなでつくるデザインマスク展 produced by ROCK FILL JAM 最終日 16:00 まで	無料	可児市文化創造センター 0574-60-3311

- ・入場者多数の場合、定員以上はご入場いただけません。主催者都合により入場制限をする場合がありますので、整理券等の有無につきましては事前に主催者にご確認ください。
- ・主催者都合により発行後内容が変更になる場合があります。催しの詳細につきましては主催者にお問い合わせください。・劇場につきましては本番ご利用日のみ掲載しております。
- ・駐車場に限りがありますので、公共交通機関の使用等をお願い致します。・11/1時点でのお申し込み状況、予定を掲載しています。

感染症への対応とご協力をお願い

- 利用者間の間隔を確保（できるだけ2m、最低1m）してください。
- マスクを着用し、丁寧な手洗い・手指の消毒を徹底してください。
- 次のいずれかの症状がある場合は来館をお控えください。
 - ・発熱（37.5度以上または平熱比1度超過）がある方
 - ・風邪の症状（発熱、咳、くしゃみ、喉の痛みなど）がある方
 - ・倦怠感（身体のだるさ）や息苦しさがある方
 - ・政府が入国制限措置を設けている国・地域から日本へ入国後14日間経過していない方
- ごみが発生した場合は、お持ち帰りください。
- ロビーでの飲食は禁止します。（水分補給は除く）
- ロビー等の共用スペース利用で30分以上滞在する場合は、入館時にインフォメーションまたは事務所にて「利用届出書」を提出してください。
- 会場では、「岐阜県感染警戒 QR システム」をご活用ください。

情緒豊かな語り、心に響く三味線の音

可児常磐津教室 巴瑠の会
おさらい会

日時 2/6(日) 13:00 会場 小劇場 料金 入場無料

常磐津は歌舞伎の伴奏音楽として江戸時代に流行し、現代まで語り継がれています。巴瑠の会生徒による素浄瑠璃をお楽しみください。

出演：可児常磐津教室 巴瑠の会 講師：常磐津 巴瑠幸太夫



主催：巴瑠の会



芸術の秋は、アウトリーチの秋。 芸術と出会い、人と出会う、 「文学座 おでかけ朗読会」。

行く先々の学校で、挨拶がてら生徒さんたちに聞いてみたところ、可見市内の中学2年生は、その殆どが「アーラ」を知っていて、行ったことがあるとのこと。何なら発表会などで舞台上に立ったことがあるという子も多い。しかし、アーラで生の舞台を観たことがある子は、とても少なかった。そんな子たちが「演劇」という芸術、「俳優」という人間に出会うことができる機会を提供するのが、この「文学座おでかけ朗読会」です。この出会いが彼らの人生の实りをより豊かにするものであるよう祈りながら、今年もおでかけして参りました。

コロナ禍によって中止となってしまった昨年から一転、今年は市内の公立中学校全校を回る予定でした。夏以降の感染爆発時期には、今年ももうダメかとあきらめかけたのですが、幸い9月に入ってから感染状況も落ち着いて、10/19 から 10/22 までの4日間、市内4校で実施することが出来ました。

今年の朗読作品は、太宰治の『走れメロス』。生徒にとって身近な作品を読んで欲しいという先生からの要望があり、聴き手となる中学2年生の国語の教科書に掲載されているこの作品に決めました。いきなり「メロスは激怒した」で始まる熱い感情が迸るこの作品を朗読してくれたのは、文学座の佐川和正さん。力強く響き渡る佐川さんの声によって、生徒たちは作品の世界にグッと引き込まれている様子でした。朗読終了後の質問コーナーでは、初めて生で、間近で触れた、プロの俳優の本気の読み込みに、驚き、魅了され、興味を持った子どもたちから「どうやったらそんな声



が出せるんですか?」「演じ分けがスゴイ!」「これまで聴いた朗読とは全然違いました!」などなど、俳優さんへの質問や感想をたくさんいただきました。また、先生からは「教室で教科書の朗読CDを聴かせている時とは、生徒の表情が全く違った。正直、こんなに集中して聴いてくれるとは思っていなかった」という感想もいただきました。先生にとっても、子どもたちの新たな一面と出会うことができる機会となっていたようです。

映像技術とともに IT 技術が進化・普及し、更に VR、AI も発達してきた現在。コロナ禍も相まって、実演芸術の存在価値、意義が改めて問われています。単純な情報の交換だけならデジタルにサッと済ませてしまえる環境の中で、わざわざ空間と時間を共有して相対することでしか得られない、出会えないものがある。それに気付くきっかけとして、この朗読が、演劇があれば良いと思います。

事業制作課 中尾

館長エッセイ

五感を働かせる

可見市文化創造センター館長 箆橋義朗

秋も深まり、可見市の里山もアーラのもみじやケヤキの木立も色づいてきました。これが読まれる頃は季節としては冬に入っていますが、確実に季節は廻り、時が流れているのを感じます。人間の営みがどうなるうとも、自然はそれにかかわらず大きな時間を刻んでいます。

車で農道を走っていると、稲刈りが終わった田んぼで葎が燃やされています。その煙の匂いがなんとも懐かしく、煙とはいえ胸いっぱい吸い込みながら、瞬時に遠い昔の幼かった頃の記憶が蘇ります。そして真っ赤な夕日とくつきりとした里山の稜線までが浮かんできます。そんな時に決まって、いくらか科学技術が発達し、映像技術が発達してもこの記憶や感覚は感じることはできないだろう」と、この今の時代に対して変な優越感を感じます。そしてそれは世界中のどんな絶景よりも印象的で心に残る風景となるのです。それが匂い、香りから想起されるところが面白いところなんです。私たちが物事に感動したり美しいと思ったするのは視覚、聴覚だけではなく、嗅覚、味覚、触覚の五感で感ずるものだということがわかります。

今、私たちはつながりや集団を規制されていて、とても窮屈で孤立感を抱いており、気が付かないうちに傷付いています。アーラで企画する文化や芸術の事業には、それらを癒す効果があり、少しでも多くの人にそのことを体感してほしいと思っています。舞台の実演や映像、展示などを企画していますが、それらの鑑賞にあたっては、観る、聴くだけではなく、五感をそれぞれ関連させてつなげる想像力を養うことが大事だと思うのです。

人々のそれぞれの思い出や経験を、芸術に触れる機会に呼び起こし、豊かな心を育て潤いを持つてほしいと思います。



ala Collection シリーズ vol.12 『紙屋悦子の青春』

「帝都に B-29 の来てから、たくさんの日本人がやられていきよとです。もう内地、それも田舎だからといって安心はできんとです」— 松田正隆 作『紙屋悦子の青春』に出てくるセリフだ。太平洋戦争末期、死と隣り合わせの空襲は日常と化していた。いつ来るかわからない爆撃機に人々は怯えながらも防空壕や防火用水などを備えて平穏な日常を過ごそうと努めていた。戦後70年が過ぎた今、今度はいつ感染するかわからない新型コロナウイルスに怯え、マスクや消毒などを備えて生活する私たち。平時ではない状況は当時と重なる部分がある。

そんなコロナ禍で ala Collection シリーズ vol.12『紙屋悦子の青春』の創作がはじまった。東京で活躍するプロの俳優やスタッフらは約1ヶ月半、可児市で生活をしながら作品を創作する。定期的な PCR 検査、毎日の検温と抗原検査での陰性確認。マスク、消毒、換気、人数制限などの感染予防対策を徹底した稽古場。さらにプライベートでは外食自粛をルール化した。自由を制限された状況でも、俳優らは芝居ができることに喜びを感じ、芝居作りに没頭していた。

このシリーズでは、公募で集まった20名ほどの市民サポーターがいる。過去11作品では、毎回、広報宣伝や稽古場の

掃除、自宅で取れた野菜やお米の差し入れ、手作り料理でのおもてなしなど、俳優やスタッフをあらゆる面で支えてくれていた。市民サポーターにとってはそれが楽しみであり、やりがいとなっていた。しかし、今回は感染対策として俳優らとの直接的な交流や差し入れは一切できない。それでも SNS や手紙などを通じて応援メッセージを送ったり、俳優らもそれに感謝のビデオメッセージで応えるなど、対面ではない交流を育んでいった。

劇中に戦争の苦しさを涙ながらに吐露するセリフがある。「赤飯は赤飯らしく食べたかです！らっきょうも、らっきょうらしく食べたかです！爆弾に当たらんと思うて赤飯やらっきょうを食べたくはなかです！」。戦時下でも平穏な日常を切望する市井の人々の心の叫びだ。戦争末期の極限状態でも人々は笑ったり、冗談を云ったり、恋をしたりする。穏やかな日常が如何に尊いことか、この作品は問いかける。そして、その尊さはコロナ禍の今だからこそ私たちの胸に響いてくる。演劇人にとっては芝居を作ることが生きるためであり、必要な日常だ。そして市民にとってもその創作活動を支えたり、安心して舞台を観られることが日常である。「とても素晴らしい舞台でした！」「芝居の前半から涙が出てきました」アンケートでは多くの感動の声が寄せられた。カーテンコールで惜しみない拍手を贈る観客と、公演を無事に終えたことに涙する俳優の姿。当たり前の日常を維持する難しさと大切さを痛感させられた。



これからもアーティストが安心して作品創作できる場とそれを市民が安心して鑑賞できる場づくりに努めていきたい。この作品に携わってくださった俳優やスタッフ、市民サポーター、観客の皆様に深く感謝したい。

事業制作課 澤村



今年最後のイベントを開催致します！
12月24日「じゃぱんサンド × ハハトコノマルシェ」9時からオープンです。
人気作家が大集合！
ベビーグッズ、子供服、アクセサリー、バッグ、アイシングクッキーなど
大人の方からお子様まで楽しめるマルシェになっております。
是非遊びにいらしてくださいね。

12月のおすすめ
じゃぱんサンド × ハハトコノマルシェ

TEL 0574-63-5223

営業時間 9:00～20:00

アラ主催・共催公演チケット提示で、公演日から1カ月間、飲食代が10%OFF ※お一人様チケット1枚につき1回限り有効 ※共催公演においては一部対象外あり

可児市文化創造センター

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139
https://www.kpac.or.jp

開館時間／9:00～22:30

✉ info@kpac.or.jp
TEL.0574-60-3311 FAX.0574-60-3312

（休館日）12月は7、14、21日
1月は11、18、25日

※ 年末年始休館は12月28日～1月4日
（火曜休館／祝日の場合は開館 翌平日休み）



ala 公式
Twitter
はじめました



@kani_ala